

1. 羽咋市及び全国の現状認識

- (1) 人口減少の現状
 - ①平成27年の国勢調査（確定値）における本市の人口は、21,729人。前回調査（平成22年）に比べ1,303人減少
 - ②過去10年間の人口推移では、自然動態は減少数が拡大傾向（出生数の減少、死亡数の増加）、社会動態は減少傾向（転入者の増加、転出者の減少）であるが、全国的な状況から今後は、厳しい状況が推測される。

市総合戦略の策定による地方創生事業の実行に伴い、社会動態の減少数は抑制傾向
- (2) 転出入の状況

転出入の要因は、就職、婚姻、転勤の順が多い
- (3) 地域経済の現状
 - ①企業誘致、起業家支援等により雇用・求人数は増加傾向であるが人手不足（求職とのアンマッチング）
 - ②道の駅の開業（H29.7.7）により、6次産業化と交流人口は拡大傾向。今後も開業効果の維持・継続策が必要。
 - ③引き続き、地域の消費喚起や地域内消費の喚起が必要 → 地域経済が好循環を促す政策を構築することが重要

2. 羽咋創生の基本的な考え方

- (1)本市の特性・特徴（強み）を最大限に活かす
- (2)本市における人口減少と地域経済の縮小の克服
- (3)本市におけるまち・ひと・しごとの好循環を確立する

3. PDCAサイクルによる施策の検証と向上

- (1)市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議による効果検証、評価
- (2)議会の意見
- (3)国総合戦略との整合

4. 中間年度の総点検

5カ年計画の中間年度であるH29年度に、基本目標に掲げる数値目標の達成度と今後の施策の展開のまとめ
若い世代への総合的支援（結婚・出産・子育て・教育・住環境）、地域資源の活用と新たな販路拡大に向けた取組等（地域商社機能）

5. 「がんばる羽咋創生総合戦略」の改訂（H30.3）

- (1)総合戦略の中間年度の総点検を踏まえ、効果性の高い施策への「選択と集中」と計画全体の最適化
- (2)国政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえた総合戦略の充実・強化
- (3)成果（アウトカム）を重視した目標設定とデータ等に基づく政策立案の推進

6. 今後の施策の方向（総合戦略の充実・強化に向けた政策方針）

- (1)若い世代への総合的支援の充実と少子化対策の推進
- (2)地域の総合力を挙げた地域経済循環システムの推進
- (3)地域の強みを活かした地域未来牽引企業との連携と支援
- (4)「自走できる組織」「稼ぐ仕組み」「地域の価値向上」の取組への支援
- (5)持続可能なまちづくりを担う多様な人材の育成と確保、還流の促進
- (6)成果（アウトカム）を重視した目標設定と客観的データ等に基づく施策の立案
- (7)人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化
- (8)未来への投資を実現するための財政運営と行財政改革の推進

7. 羽咋創生の新たな飛躍に向けた施策（政策パッケージ）

基本目標1 羽咋における安定した雇用と魅力あるしごとを創出する

- (1) 地域資源を活用した農業の振興と6次産業化
 - ①『自然栽培』を中心とした農業の成長産業化
 - ②有害鳥獣（イノシシ等）を活用した商品の開発・流通促進
 - ③新規就農者に対する総合的な支援
- (2) 観光交流拠点を核とした雇用の創出
 - ①『道の駅のと千里浜』を核とした観光交流拠点施設の整備推進と地場産品市場の拡大
 - ②羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出
- (3) 企業立地や誘致、基幹産業・起業家支援による地域活力の創造
 - ①継続した企業立地・誘致の推進
 - ②基幹産業の育成と支援
 - ③起業・創業支援の強化
 - ④多様な就労支援
- (4) 地域経済の好循環に向けた総合的取組の推進
 - ①『地域商社』機能の推進による地域ビジネスの創造と成長
 - ②地域中核企業、大学等との連携による新産業・新事業の創出

基本目標2 羽咋への新しいひとの流れをつくる

- (1) 地方移住の推進
 - ①移住総合相談窓口による地方移住支援
- (2) 羽咋らしい観光地域づくり
 - ①観光、歴史文化、スポーツ等の活性化等を通じた交流人口の拡大
 - ②周遊滞在型観光の推進
 - ③魅力あふれる観光情報の発信

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 出会いから結婚までの総合的な支援の充実
 - ①結婚を希望する若者への支援
- (2) 子ども・子育て支援の継続・充実
 - ①妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減
 - ②出産・子育てしやすい環境の整備
 - ③子育てと仕事の両立支援、女性の活躍の場の創出
- (3) 『3あい～学びあい・鍛えあい・育ちあい～』の推進による学力・教育力の向上と充実
 - ①学びやすい学校施設と設備の維持
 - ②次代に対応するための学習能力の向上
 - ③きめ細やかな教育・学習機会の充実

基本目標4 時代に合った持続可能な地域をつくり、地域と地域が連携する

- (1) 住まいの整備・再生、安価な宅地供給の促進
 - ①住環境の整備推進
 - ②空き家・空き地等の利活用と既存住宅の性能維持の支援
- (2) 既存施設の効果的な維持管理の促進
 - ①公共施設の長寿命化と計画的整備
- (3) 地域で安全・安心に暮らせるまちづくりの推進
 - ①地域における減災・防災体制の充実
 - ②地域包括ケアシステムの構築と推進
 - ③健康寿命の延伸による「生涯活躍のまち」の構築
- (4) 生活利便性の向上と生活環境の保全
 - ①都市機能の集積と市街地の賑わい創出
 - ②「地域における足」となる循環型交通の確保
 - ③再生可能エネルギー・省エネルギーの利活用と環境保全の推進
- (5) コミュニティ活性化と地域の未来を担う人材の育成
 - ①地域活力の維持と協働のまちづくりの推進
 - ②「羽咋」の未来を担う人材の育成と支援の充実
- (6) 「ふるさと」支援と交流の促進
 - ①「ふるさと応援団」等による都市部との交流と共創
- (7) 地域連携、広域連携の推進による経済・生活圏の形成
 - ①近隣自治体、能登地域、広域地域等との連携・強化

人口減少の抑制

市民が創る持続可能な地域

地域経済の活性化

まち・ひと・しごとの好循環

